

18

医療法人社団
協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

331-8577 さいたま市北区土呂町1522

TEL 048-665-6111

FAX 048-665-6112

URL https://shmc.jp/

病院データ

※2024年4月～ 2025年3月の計数

病床数

337床

医師数

75人

指導医数

57人

外来患者数
(1日平均)

476人

入院患者数
(1日平均)

306人

救急外来
患者数
(1日平均)

22人

救急車搬送
患者数
(1日平均)

17人

心肺停止状態
搬送患者数
(1日平均)

0.09人

診療科目 内科／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科／脳神経内科／腎臓内科／糖尿病・代謝・内分泌内科／血液内科／リウマチ科／緩和ケア内科／外科／消化器外科／乳腺外科／肛門外科／腫瘍内科／整形外科／形成外科／脳神経外科／心臓血管外科／耳鼻咽喉科／眼科／泌尿器科／婦人科／皮膚科／麻酔科／放射線診断科／放射線治療科／リハビリテーション科／救急科／病理診断科／歯科口腔外科

病院の特徴

3年目4月1日には独り立ち！！

当院では、将来どの専攻分野に進んでも困らないよう、厚生労働省が定める到達目標をこの2年間で達成し、「3年目に独り立ちできること」をスローガンとしています。専門医になったときの実力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと考えております。

常勤医師のほとんどが指導医であり、科全体・病院全体で研修医を育てる充実した指導体制です。救急ローテート時や日当直では、ファーストタッチから一連の検査オーダー、診断までを研修医が主体的に行います。もちろん指導医や上級医がしっかりサポート・指導をしてくれますので安心して研修に臨むことができ、臨床能力を養うことができます。また、産婦人科・小児科・精神科・地域医療については、専門的な知識を経験できる施設と連携しています。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／なし

メッセージ

医師として、社会人としての人間性を磨く

副院長
長田 秀夫
出身大学：防衛医科大学

当院の取り組みの一端をご紹介します。
・挨拶をする、時間を守る、約束を守る、協力する

医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。
・チーフレジデントの選出

各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、採用試験の面接官の一員等々、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩達も更に良い研修をできるように活動していく中心的役割を担います。
・各診療科の研修内容のフィードバック

研修内容や指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には臨床研修委員会を通じ、研修内容のフィードバックや改善などお願いしております。そして当院の柱の1つである救急科(2次救急、年間6,000件程度)の現場で幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。未来に向けてまだまだ新たな取り組み・改善をしていく所存です。

充実した救急研修

研修医2年目
村岡 薫
出身大学：愛媛大学(2023年卒)

当院の魅力を2点紹介します。
1点目は救急科研修です。救急は医療の第一線で活躍するためのスキルを養う絶好の機会です。救急科研修では、ファーストタッチ、検査オーダーや患者説明も研修医が主体となって行います。経験豊富な指導医のもとで様々な症例を経験でき、これから医師として働いていく上で重要な救急対応のスキルが身につきます。
2点目は社会人として成長できる研修環境です。当院は、指導医やコメディカルの方々が非常に温かく働きやすい職場です。誰とすれ違っても挨拶があり、コミュニケーション能力の高いスタッフが多いのも特徴です。医師は医学的な知識や技術だけでなく、社会性も求められます。
当院は社会人としても成長できる環境であると確信しております。
初期研修の2年間はこれからの医師人生の基盤となる非常に重要な期間です。そんな2年間で当院で私たちと一緒に過ごしませんか。ぜひ一度、見学にいらして下さい！

研修データ

初期研修医数
(1年目)

8人

初期研修医数
(2年目)

8人

昨年度
マッチング
受験者数

65人

募集人数

8人

当直日数
(月平均)

4日

当直
開始時期

1年目5月

当直時の
勤務体制※
※研修医以外の当直人数

3人

主な
出身大学

東京医科大学／北里大学／東北大学／昭和医科大学／秋田大学／愛媛大学／東京慈恵会医科大学／琉球大学／山梨大学／札幌医科大学／山形大学／新潟大学／東邦大学／奈良県立医科大学

研修プログラムの特色

研修コンセプト【3年目の4月1日に独り立ち】
3年目はどんな環境での研修になるかわからない。そこで、3年目にどの診療科に進んだとしても、自信を持って対応できるよう当院独自のプログラムを作成している。
能動的、自主的な姿勢を支援する教育体制研修内容をより充実させるために、研修医がプログラムの見直しや改善を提案できる風土
✓麻酔科を2か月必須：挿管できずして急変対応ができるのか ✓救急科を、1年次と2年次に分けて研修：2年次はプレ3年生生を意識 ✓2年次では集中治療室研修もあり：人工呼吸器管理できずして当直帯を乗り切れるのか ✓放射線科(読影)が自由選択で学べる：読影出来ずして当直できるのか

研修スケジュール《年間研修予定(例)》												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科		救急科		麻酔科	
2年次	小児科	産婦人科	精神科	へき地・ 離島	救急科	調整 (一般外来)	選択科					

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

● 給 与 / 1年目：400,000円、2年目：430,000円(月額)
1年目：4,800,000円、2年目：5,160,000円(年額)

● 諸 手 当 / 当直手当：1年次15,000円、2年次25,000円
日勤手当：1年次10,000円、2年次15,000円

● 勤 務 時 間 / 9：00～17：30

● 保 険 / 協会けんぽ、雇用保険、厚生年金、労働者災害補償保険、医師賠償責任保険

● 休 暇 / 土曜隔週、日曜、祝祭日、年末年始(12/30～1/3)、有給休暇(1年次：10日、2年次：11日)

● そ の 他 / 学会・研修会等参加の費用負担あり(8万円/年)、学会休(3回/年)医療費見舞金制度(3万円まで/月)、保養所、院内旅行、その他



応募連絡先

臨床研修センター：野口・横濱

TEL 048-665-6111

FAX 048-665-6112

Mail kenshui@shmc.jp